

平成 30 年度

施設事業報告書

社会福祉法人 恵の園

種 別	施 設 名 称
障 害 者 支 援 施 設	グ レ イ ス ホ ー ム
障 害 者 支 援 施 設	あ け ぼ の ホ ー ム
障 害 者 支 援 施 設	め ぐ み の 里
障 害 福 祉 サ ー ビ ス 事 業	ベ テ ル
障 害 福 祉 サ ー ビ ス 事 業	エ ス テ ル
障 害 福 祉 サ ー ビ ス 事 業	シ ャ ロ ー ム
障 害 福 祉 サ ー ビ ス 事 業	マ イ ー ム
相 談 支 援 事 業	ぶ ど う の 木
特 別 養 護 老 人 ホ ー ム	カ ナ ン
認 知 症 対 応 型 老 人 共 同 生 活 援 助	さ つ き
デ イ サ ー ビ ス	ゆ う か り
福 祉 用 具 貸 与 ・ 販 売 事 業	ポ パ イ
居 宅 介 護 支 援 事 業	シ オ ン の 丘
収 益 事 業	オ リ ー ブ

目 次

第1章 年間行事、集会等	1
第2章 会議・研修・集会等一覧	3
第3章 障害者支援施設	
1. グレイスホーム〔生活介護事業・施設入所支援事業〕	5
2. あげぼのホーム〔生活介護事業・施設入所支援事業〕	10
3. めぐみの里〔生活介護事業・施設入所支援事業〕	16
第4章 障害福祉サービス事業所	
1. ベテル〔就労移行支援事業・就労継続支援事業B型〕	22
2. エステル〔就労継続支援事業B型・生活介護事業〕	26
3. シャローム〔就労継続支援事業B型〕	30
4. マイーム〔共同生活援助事業・共同生活介護事業〕	32
第5章 相談支援事業	
1. ぶどうの木	34
第6章 高齢福祉事業	
1. カナン〔特別養護老人ホーム・短期入所生活介護〕	36
2. さつき〔地域密着型サービス認知症対応型老人共同生活援助〕	42
3. ゆうかり〔通所介護・予防介護〕	45
第7章 公益事業	
1. ポパイ〔福祉用具貸与・販売事業〕	47
2. シオンの丘〔居宅介護支援事業〕	48
第8章 収益事業	
1. オリーブ	49

第1章 年間行事、集会等

(法=法人、B=ベテル、GH=グレイスホーム、AH=あけぼのホーム、里=めぐみの里、エ=エステル、シャ=シャローム、さ=さつきマ=マイーム

カ=カナン、ゆ=ゆうかり、シ=シオンの丘)

月	合同行事	施設別行事	研修会・集会・会議	その他
4	辞令交付式 2日 家族会総会・懇談会 14日	お花見（各施設で実施）	現任研修1回(各施設で実施) 創立の精神を学ぶ集い 14日 一般職研修会 16日	新任職員歓迎会 2日 チャイの日 14日
5		知的施設レクリエーション大会 23日 高崎パイロットクラブサマーコンサート (里、カ) 30日	現任研修1回(各施設で実施) 新任チーフ研修 7日 監事監査 16日 理事会 19日 創立の精神を学ぶ集い 19日 指導職研修 21日 経営会議 21日	職員旅行① 25～26日
6		親笑レクリエーション大会 27日 渋川幼稚園との交流会(カ) 25日	現任研修1回(各施設で実施) 管理職研修会 15日 評議員会 18日 故人を偲ぶ会 18日 全体研修 21日 新任フォローアップ研修 28日	職員旅行② 1日 職員旅行③ 8～9日
7	納涼祭 27日	ボランティア交流会(里) 4日 夏祭り(ゆ) 31日	現任研修1回(各施設で実施) 運営協議会 6日 経営会議 13日 創立の精神を学ぶ集い 21日	
8		夏季日帰り旅行(B) 8日 ぶどう狩り(ゆ) 20日～25日 シャローム一泊旅行 31日～1日	指導職研修会 17日 経営会議 20日	夏季職員交流会 20日
9	恵の園後援会バザー 22日	ぶどう狩り(カ) 5・8・12日 夏季レクリエーション(エ) 7日～8日 家族連絡会(シ) 8日 高柳歌謡祭参加(A) 9日	現任研修1回(各施設で実施) 理事会 4日 管理職研修会 14日 理事会 28日 創立の精神を学ぶ集い 29日	群馬県実地指導(カ、ゆ) 20日 渋川市実地指導(シ) 20日 身障施設受水槽交換設置工事入札 28日

10	創立記念日(50周年) 20日 創立50周年記念式典 26日	家族連絡会(里) 14日 秋を味わう会(さ) 15日 日帰り旅行(エ) 17日 秋の大運動会(カ・ゆ・さ) 17日 りんご狩り(ゆ) 18~24日 創立記念セール(シャ) 22日	現任研修1回(各施設で実施) 一般職研修・役職研修 19日 創立の精神を学ぶ集い 22日 永年勤続職員表彰 22日	職員旅行⑤ 5~6日 職員旅行⑥ 12~13日 地域サービスデー 30日
11	筑井孝子先生チャリティ絵画展 23~25日	日帰り旅行(B) 1日 ボランティア交流会(GH) 8日 紅葉狩り(ゆ) 14~20日 秋を楽しむ会(カ) 21日 日帰り旅行(GH) 29日	現任研修1回(各施設で実施) 全体研修 8日 創立の精神を学ぶ集い 12日 評議員会 16日 経営会議 19日 指導職研修 19日	
12	クリスマス集会 25日 仕事納め・大掃除 28日	日帰り旅行(GH) 6日 会食会(エ) 7日 もちつき(シャ) 7日 渋川市勤労者協議会との もちつき交流会(里) 8日 望年会(カ) 12日 忘年会(ゆ) 17日 クリスマス会食会(さ) 19日 クリスマスティーパーティー(里) 25日 慰労会(シャ) 28日	現任研修1回(各施設で実施) 理事会 13日 創立の精神を学ぶ集い 15日 管理職研修 17日	冬季職員交流会 17日
1	仕事始め・新年会 4日	新年会(ゆ) 8日 新年会会食会(AH) 9日 新年会会食会(GH) 10日 新年会(カ) 16日 お刺身の日(エ) 23日	現任研修1回(各施設で実施) 経営会議 18日	ゆうあいフェスティバル 8~10日 35歳未満職員健康診断 25・28日
2			現任研修1回(各施設で実施) 運営協議会 4日 創立の精神を学ぶ集い 16日	
3			現任研修2回(各施設で実施) 理事会 1日 新任フォローアップ研修 6日 経営会議 15日 評議員会 16日 創立の精神を学ぶ集い 16日 新任職員研修会 20~23日	職員壮行会 25日

第2章 会議・研修・集会等一覧表

各施設の会議及び集会、研修について下記のとおり実施した。

(1) 会議・集会等

	会議等の種類	曜日・回数等	時間	場所	出席の範囲
会 議	経営会議	隔月	13:30~15:30	めぐみの里会議室	相談役、理事長、施設長
	管理職会議	毎週火曜日	10:10~12:00	めぐみの里会議室	施設長、副施設長
	チーフ会議	毎週火曜日	13:00~14:00	めぐみの里会議室	チーフ(各部署から1名)施設長又は副施設長が必ず参加
	地域福祉係会議	第1金曜日	14:10~16:00	めぐみの里会議室	地域福祉係担当者
	人材育成係会議	第2水曜日	14:30~16:00	めぐみの里会議室	人材育成係担当者
	広報係会議	第4金曜日	14:00~16:00	めぐみの里会議室	広報係担当者
	防災係会議	第1水曜日	14:00~16:00	めぐみの里会議室	防災係担当者
	安全衛生委員会	第2金曜日	13:30~14:30	めぐみの里会議室	安全衛生管理監督者、衛生管理者、産業医、担当職員
	IT担当会議	第2木曜日(奇数月)	14:10~15:00	めぐみの里会議室	IT担当者
	固定資産管理係会議	第2木曜日(偶数月)	14:10~15:00	めぐみの里会議室	固定資産管理係担当者
	ベテル会議	第3木曜日	16:00~17:00	ベテル製袋班	施設長、所属職員
	グレイスホーム会議	第1.3木曜日	14:00~16:00	グレイスホーム職員室	施設長、所属職員
	あけぼのホーム会議	第3木曜日	14:00~16:00	あけぼのホーム職員室	施設長、所属職員
	めぐみの里会議	第1.3木曜日	14:00~16:00	めぐみの里多目的室	施設長、所属職員
	シャローム会議	毎月1回	16:00~19:30	シャローム職員室	施設長、所属職員
	エステル会議	第3水曜日	17:30~19:00	エステル職員室	施設長、所属職員
	あじさいの家会議	月1土曜日	9:00~10:00	あじさいの家職員室	施設長代理、所属職員
	知的障害者施設 給食会議	第3木曜日	13:30~14:30	めぐみの里食堂	栄養士、給食担当者、業務委託者他
	バルナバホーム会議	毎月1回	9:30~11:00	めぐみの里会議室	サービス管理責任者、世話人、バックアップ施設職員
	さくらホーム会議	毎月1回	9:30~11:00	めぐみの里会議室	サービス管理責任者、世話人、バックアップ施設職員
	クロスホーム会議	毎月1回	9:30~11:00	めぐみの里会議室	サービス管理責任者、世話人、バックアップ施設職員
	ダビデホーム会議	毎月1回	9:30~11:00	めぐみの里会議室	サービス管理責任者、世話人、バックアップ施設職員
	さつき会議	第4水曜日	14:00~16:00	さつき職員室	施設長代理、所属職員
	ぶどうの木会議	第3水曜日	13:00~15:00	ぶどうの木相談室	施設長、所属職員
	ポパイ会議	第1金曜日	15:15~17:15	ポパイ相談室	施設長、所属職員
	カナン会議	第1.3水曜日	14:00~16:00	カナン会議室	施設長、所属職員
	ゆうかり会議	第3火曜日	17:30~18:30	ゆうかりダイルーム	施設長、所属職員
	庶務・経理係会議	第1木曜日	10:00~12:00	庶務・経理事務室	総務部長、所属職員
	身体障害者施設 給食会議	第3水曜日	14:00~15:00	グレイスホーム食堂	栄養士、給食担当者、業務委託者他
	集 会 等	職員朝礼	毎日	8:30~8:40	合同事務所
全体朝礼		毎週月曜日	8:45~9:00	あけぼのホーム前広場	身体障害者施設利用者、職員
創立の精神を学ぶ集い		土、月 月1回	10:20~11:50	めぐみホール	利用者、職員

(2) 研修会

研 修	管理職研修(相談役による)	年 3 回	10:30~12:00	めぐみの里多目的室	管理職
	指導職研修(相談役による)	年 3 回	10:30~12:00	めぐみの里多目的室	指導職
	新任チーフ研修	年 1 回	9:00~12:00	めぐみの里会議室	28 年度新任チーフ
	新任職員研修フォローアップ研修	年 2 回	9:00~12:00	めぐみの里会議室	27 年度中途採用職員(T1 含む)、28 年度新任職員(T1 含む)
	新任職員研修	年 1 回	9:00~20:00	研修センターリバーサイド	28 年度中途採用職員(T1 含む)、29 年度新任職員(T1 含む)
	現任研修(一部役職研修含む)	年 15 回	各部署で設定	各部署	相談役、理事長、管理職、指導職、一般職他
	全体研修	年 2 回	17:45~19:00	めぐみの里多目的室	管理職、指導職、一般職員

第3章 障害者支援施設

1. グレイスホーム〔生活介護事業・施設入所支援事業〕

(1) 概要

昨年度契約した群馬県第三者評価の現地調査が行なわれた。また、自己評価を基にマニュアルの見直し及び新規作成を行ない職員の共通認識を図った。今冬、インフルエンザ感染症が拡大し、利用者24名・職員9名が感染した。インフルエンザによる重篤者や入院者は出なかったが、インフルエンザなどの感染症への対応について見直しを行なった。

(2) 年間入退所

退所日	性別	支援機関	入所日	性別	支援機関
7月26日	男性	渋川市	9月23日	男性	玉村町
3月15日	男性	新発田市			

(3) 重点目標に対する取り組み

①利用者支援の向上を目指す

- ・移乗支援や食事支援などの介護技術や利用者の障害特性について現任研修を通して学んだ。特に介護技術は、研修で実際の支援の状況を職員同士で確認することができ、支援の統一を図ることができた。
- ・群馬県第三者評価の自己評価で挙げられているマニュアルを参考にグレイスホームのマニュアルの確認を行なった。その中でグレイスホームになかったマニュアルについては新規に作成を行ない、既存のマニュアルも見直しを行なうことができた。

②浴室改修への準備を進める

- ・改修について、既存の浴室を改修することができないかを調べるために国際福祉機器展に見学に行った。そこで介護リフトを取扱う業者と連絡を取り、実際に見ていただき介護リフト等の設置と入浴方法などの相談を行なった。

(4) 利用者支援

①生活介護・施設入所支援

ア 生活支援

- ・旬の食材を使用した会食会を年4回実施した。
- ・利用者の高齢化や障害の重度化で現在の浴室では利用が難しくなった利用者が昨年より増えた。そのため機械浴を借りての入浴が増え、日中活動にも影響がでてきた。
- ・朝の体操での指体操や記憶力クイズ、都道府県当て、四字熟語クイズなどを取り入れて認知症の予防を行なった。

イ 機能訓練

- ・ケース会議やリハカンファレンスで転倒が多く見られる利用者に対して、機能訓練の内容を見直したり、移乗方法の見直しや福祉用具の検討を行ったりした。

ウ 創作・文化活動

- ・認知症予防に効果がある食材を使用した料理や季節に合わせたお菓子作りを行なった。
- ・日帰り旅行では、「動物と触れ合おう」をテーマに「群馬サファリパーク」へ出掛け、大小様々な動物と触れ合うなど施設生活では味わえない体験を行なった。
- ・文化の日に合わせて食事時間にクラシックやジャズなどの音楽を流したり、廊下に名画のポスターを掲示したりした。

エ 生産活動

- ・キャンドル作業は工程が難しく実施できなかったためキャンドル作業よりも簡単な別のものができないか検討を行なった。
- ・カブトムシの成虫を捕獲、繁殖を試みた結果、少ないが幼虫が生まれた。幼虫を育てながら、多くの成虫を養殖できるように次年度も引き続き実施する。

オ 医務面

- ・定期的な健康診断・検査・健康相談を行ない、異常が見られた利用者には医師の指示を仰ぎながら健康の維持管理を図った。
- ・生活支援員と看護師とで連携をとり、体調不良の利用者の早期発見、早期対応を行なった。
- ・インフルエンザが拡大したため、体調不良の利用者の早期発見のためインフルエンザが流行する時期のみ毎日の検温を行なった。

・年間報告

月	項目	内容
5	利用者採血	(株) BML
6	利用者前期健康診断	嘱託医 31 名
7	職員健康診断 歯科検診・ブラッシング指導	三愛クリニック (35 歳未満職員・深夜業務従事者) 11 名 利用者 26 名
8	利用者定期結核健康診断	渋川保健福祉事務所 31 名
11	インフルエンザ予防接種	利用者 21 名、職員 16 名
12	利用者後期健康診断	嘱託医 31 名
1	職員胸部レントゲン撮影・採血	三愛クリニック (35 歳未満職員)

※生活習慣病予防健診 (35 歳以上の職員)

※訪問歯科実施 (オーラルケア前橋デンタルクリニック：毎週火曜日)

・通院状況（延件数）

内科	外科	歯科	耳鼻科	皮膚科	眼科	神経科	泌尿器科	整形外科	脳外科	循環器科	呼吸器科	他	合計
181	12	25	17	28	43	50	118	42	16	6	0	5	525

（平成 29 年度 590 件）

・園内治癒状況（延人数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
250	388	315	303	419	271	270	240	527	171	267	242	3,663

（平成 29 年度 3,579 人）

・医師診察状況（延人数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
13	14	31	13	13	14	12	34	31	11	13	13	212

（平成 29 年度 647 人）

・訪問歯科（延人数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
26	27	22	20	17	18	12	21	18	14	27	28	250

（平成 29 年度 438 人）

・入院状況

氏名	病名	入院期間	病院名
K. T	統合失調症	1/31～4/18	榛名病院
K. Y	貧血	3/22～4/13	北毛病院
M. T	低栄養及び電解質異常	7/13～7/25	北毛病院
K. T	食欲不振	7/26～12/6	北毛病院
K. Y	脱水症	8/15～8/17	沼田病院
T. K	大腿骨骨折	9/26～11/6	関口病院
H. G	肺炎	10/10～10/29	北毛病院
T. E	肺炎	10/11～11/21	渋川医療センター
A. S	低カリウム血症	11/15～11/22	北毛病院
H. G	肺炎	11/27～12/7	北毛病院
T. E	けいれん発作	12/2～12/13	渋川医療センター
S. M	右下肢閉塞性動脈硬化症	1/9～2/21	群馬大学付属病院
T. E	肺炎	1/13～1/15	渋川医療センター
H. G	肺炎	2/21～3/4	北毛病院
S. M	右下肢閉塞性動脈硬化症	2/21～3/28	北毛病院
T. H	肺炎	3/20～	北毛病院

合計 16 件（平成 29 年度 14 件）

②年間行事報告

月	日	内容	月	日	内容
4	12	花見	11	8	ボランティア交流会 秋季レクリエーション「旬の味 覚を味わう会」
	14	家族懇談会			
6	27	親笑レクリエーション		26	日帰り旅行1班
7	27	納涼祭	12	6	日帰り旅行2班
8	9	日中想定避難訓練		13	おいしいもちを食べよう会
	23	東京女学館交流会		25	クリスマス集会
9	2	障害者スポーツ大会	1	10	自治会主催新年会
	13	夏季レクリエーション「バーベ キュー」	2	6	冬季レクリエーション「旬の味 覚を味わう会」
	16	障害者スポーツ大会（フライン グディスク）			
10	5	ふれあいボーリング		26	夜間想定避難訓練
			3	25	地震想定避難訓練

③建物設備整備状況

月	内容	月	内容
4	受水槽水質検査 身障厨房害虫駆除 廊下LED照明交換工事	9	スプリンクラー点検 男性浴室脱衣場エアコン交換 医務室床改修工事
5	居室2部屋改修工事 消防設備点検	10	液晶テレビ購入（食堂）
6	居室エアコン交換（2台）	11	館内ワックス掛け 消防設備点検
7	医務室床下水漏れ調査及び修理	2	ボイラー給湯・暖房系統熱交換器交 換
		3	居室エアコン交換（4台）

※ボイラーの故障が相次ぎ、入浴ができないことがあり、利用者生活に影響が出た。

（5）短期入所事業

①概要

在宅生活が困難となり施設入所を希望される利用者の長期受入やグループホームでの生活で一時的に支援が必要になった利用者の受入など相談支援事業所と連携をとりながら対

応した。

また、定期的に利用したい利用者の受入れができるように日程調整を行ないながら受け入れを行なった。

②重点目標に対する取り組み

ア 個別支援計画を本人・家族の希望や意見を確認しながら作成した。本人にとって安心、安全な生活が送れるよう声掛けを行ない、体調不良時には通院等の支援を行なった。

イ 利用希望や施設見学の連絡を受けた際には、見学に来て頂けるように働きかけ、利用にあたっての相談等を行なった。

③年間利用状況

支援機関	実利用者数	性別	延べ利用回数及び日数	
渋川市	1名	男性	1回	3日
渋川市	1名	女性	1回	11日
渋川市	1名	女性	1回	2日
渋川市	1名	男性	2回	41日
吉岡町	1名	男性	1回	11日
嬭恋村	1名	男性	4回	37日
高崎市	1名	女性	2回	23日
高崎市	1名	男性	2回	6日
新発田市	1名	男性	1回	14日
合計	9名		15回	148日

利用稼働率：40%（前年度25%）

2. あげぼのホーム〔生活介護・施設入所支援事業〕

(1) 概要

利用者の高齢化や身体機能の低下が進む中、全利用者のアセスメントをやり直し、現状でのニーズを確認した。そのニーズに対して、現在の職員体制の中でどう対応していくかまでの検討には至らなかった。

医療的ケアの必要性やご家族の希望で3名の利用者が施設移行となった。

昨年度購入できなかったベッドの購入（17台）、また放送設備や身障受水槽工事等大きな工事を行なった。

(2) 年間退所・入所状況

退所日	性別	支援機関	入所日	性別	支援機関
6月8日	女性	練馬区	12月20日	男性	青梅市
7月18日	男性	大島町	1月30日	男性	府中市
9月18日	女性	江東区			
10月27日	女性	葛飾区			
11月2日	男性	東村山市			
1月24日	女性	三鷹市			
2月13日	男性	調布市			

(3) 重点目標に対する取り組み

①利用者支援の向上を目指す。

- ・プライバシーへの配慮を考えオムツ交換車等の検討を進めたが、居室スペースの関係もあり導入は難しいとの結論に至った。また、介護ベッド（自動体位変換、離床センサー付）を導入し、介護負担の一部軽減へとつながった。
- ・虐待防止の関係では、役職者（チーフ4名）を中心に外部研修に参加させ、その内容を研修等で全職員へ周知させた。

②計画的な施設整備を行なう

- ・昨年度、購入できなかったベッド17台を購入し、利用者ベッドの入れ替えが終了となった。また、放送設備や身障受水槽工事等の工事も実施した。しかし、当初予定していた重油タンク内面ライニング工事は、受水槽工事金額が高額だった点や、工事業者の選定もうまくいかず実施できなかった。

(4) 生活介護・施設入所支援事業

①生活支援

- ・アセスメントを取り直す上で、他施設で使用しているもの等を検討するも、最終的には

これまで通り ND を使用して全利用者のアセスメントを実施した。

- ・事故、インシデント、ヒヤリハット含め内容はすべて職員会議等で検討し。再発防止も含め対応は職員へ周知させた。

②リハビリテーション

- ・身体状況に変化があった際は、理学療法士にアドバイスをもらい対応策を検討し対応することができた。特に、新規利用者が入所した際は、ご本人、ご家族の意向を必ず確認し、支援計画にも反映させた。
- ・職員の腰痛予防も含め、昨年度から介護用パワースーツの導入を検討した。しかし、居室のスペース問題や一連の介護動作に対して、現段階では導入は難しいと判断し保留となった。

③日中活動

- ・利用者が自らで活動できるようになり、介助が必要な利用者の参加を職員が促すことができた。また、活動で作成した作品の一部を共有のスペースに展示した。

活 動	内 容
一粒の会（月 1 回）	あけぼのコミュニティー教会牧師、スタッフの協力による賛美集会
文芸同好会（月 1 回）	自作の俳句、短歌、詩を詠む。
カラオケクラブ （週 2 回）	カラオケセットを使用し、各々の得意な歌を歌ったり、カラオケ大会へ向けての練習を行なう。
書を楽しむ会（週 1 回）	自由な発想で書道を楽しむ。
手芸会（週 1 回）	ピン留めやカチューシャなどを作ったり、ハンガー作り、編み物をしたりと利用者が色々な材料を使いながら楽しく、作品作りを行なう。
娯楽クラブ（週 2 回）	テレビゲームの体感型ゲームやレクリエーションなど体を動かしながら楽しく行う。

④健康管理

- ・癌の診断を受けた利用者が 3 名おり、医師、ご家族、市区町村と連携を図りながらの対応となった。また、施設移行も踏まえ、専門の医療機関とのやり取りも実施した。
- ・高齢となり、入退院を繰り返す利用者に対して、病院との連携を図り、状態に合わせた支援や通院を実施した。
- ・7 月には疥癬を発症する利用者が 1 階を中心に広まり隔離対応等行なったが、落ち着くまでに約 2 ヶ月間要した。
- ・各月状況

月	内 容
5	前期健康診断事前検査実施（利用者） 採血（利用者）
6	前期健康診断実施（利用者） 聴打診（利用者）

7	歯科検診（利用者） 深夜業従事職員健康診断（職員）
9	耳鼻科健診（利用者）
9~12	生活習慣病予防健診（職員）
10	胸部X-P（利用者）
11	インフルエンザ予防接種実施（利用者・職員）
12	後期健康診断事前検査実施（利用者）
1	後期健康診断実施（利用者） 35歳未満職員健康診断（職員）

・通院状況（延べ人数）

内科	外科	耳鼻科	眼科	皮膚科	神経科	泌尿器科	呼吸器科	脳外科	整形外科	循環器科	神経内科	精神科	婦人科	合計
103	43	6	13	36	0	124	3	12	34	3	15	9	0	401

（平成29年度 400人）

・園内治療状況（延べ件数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
540	541	525	608	561	617	602	598	693	674	658	660	7277

（平成29年度 6,044件）

・医師診察状況（延べ人数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
36	44	39	38	37	36	37	36	59	39	37	38	476

（平成29年度 730人）

・入院状況

氏名	病名	入院期間	病院名
K. O	肺炎	3/28~4/10	北毛病院
K. K	膿胸	4/1~4/20	北毛病院
T. T	血圧コントロール	4/5~4/26	北毛病院
M. A	陰膿腫	4/10~4/20	渋川医療センター
H. K	肺炎、心不全	4/23~6/8	北毛病院
S. N	細菌感染	4/25~5/10	北毛病院
M. S	腎臓癌	5/10~5/15 5/17~7/9	北毛病院 北毛病院
R. A	尿路感染	5/16~5/31	北毛病院
K. S	膀胱出血	6/5~6/12	有馬クリニック
K. K	低栄養	6/8~7/23	北毛病院
T. N	右乳癌	6/27~7/3	渋川医療センター
I. M	結石性腎盂腎炎	6/23~7/5	渋川医療センター

M. S	腎臓癌	7/12～7/18	渋川医療センター
N. K	尿路感染	7/2～7/12	有馬クリニック
A. O	肺炎	7/29～8/24	渋川中央病院
Y. M	腸捻転	8/14～8/22	渋川医療センター
K. K	食欲不振	8/17～9/11	北毛病院
T. T	ペグカテーテル交換	9/13～9/14	北毛病院
I. M	尿管結石除去手術	9/20～9/27	渋川医療センター
T. O	蜂窩織炎	9/23～10/10	北毛病院
R. A	尿路感染	9/27～12/3	北毛病院
K. K	食欲不振	9/27～10/15 10/29～11/19	北毛病院 北毛病院
T. T	肺炎、尿路感染	10/5～10/27	北毛病院
S. N	尿路感染	10/13～12/11	北毛病院
I. M	尿路結石	10/12～10/16	渋川医療センター
K. K	低栄養	11/29～2/4	北毛病院
A. O	肺炎	11/5～11/14	北毛病院
M. O	尿路感染	11/7～11/12	有馬クリニック
H. T	ペグカテーテル交換	11/14～11/15	北毛病院
K. Y	イレウス 食欲不振	11/25～1/10 12/25～1/10	北毛病院 北毛病院
Y. K	検査入院	12/12～1/8	北毛病院
M. O	蜂窩織炎	1/11～1/16	北毛病院
S. N	嘔吐	2/16～3/11	北毛病院
K. Y	食欲不振	3/16～3/25	北毛病院
I. M	蜂窩織炎	3/19～4/2	関口病院

合計 35 件 (平成 29 年度 41 件)

・訪問歯科状況 (延べ件数)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
59	39	57	38	0	31	32	38	42	48	62	75	521

(平成 29 年度 765 件)

⑤食事

- ・利用者の状態や希望に合わせた食事が提供できるよう、医務、支援員、栄養士、医師、ご家族で連携をしながら安全に配慮した食事提供ができた。
- ・食器の定期購入や厨房機器のメンテナンス等、過不足なく行ない使いやすい厨房環境の整備に努めた。
- ・月 1 回の選択メニューや委託業者の企画した駅弁、鍋など季節に合わせた料理を提供し、利用者からも好評であった。

【常食】

平成 30 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
エネルギー (kcal)	1616	1623	1615	1618	1610	1612
蛋白質 (g)	61.9	61.2	61.1	62.2	61.8	61.2
脂質 (g)	44.4	45.1	44.1	44.2	43.1	45.2
塩分 (g)	9.5	9.5	9.3	9.5	9.4	9.6
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
エネルギー (kcal)	1610	1609	1608	1613	1609	1616
蛋白質 (g)	61.0	61.0	61.9	62.3	61.2	61.6
脂質 (g)	43.3	44.5	44.0	44.0	42.8	43.5
塩分 (g)	9.5	9.4	9.5	9.6	9.5	9.5

【軟菜食】

平成 30 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
エネルギー (kcal)	1417	1416	1416	1420	1411	1410
蛋白質 (g)	51.0	50.7	51.6	52.3	52.8	51.7
脂質 (g)	45.5	46.0	45.4	44.7	43.7	44.8
塩分 (g)	10.0	9.9	9.5	9.9	9.7	9.8
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
エネルギー (kcal)	1411	1409	1418	1427	1421	1412
蛋白質 (g)	51.6	50.8	52.6	52.9	52.1	52.6
脂質 (g)	44.0	45.1	45.0	45.9	44.1	44.0
塩分 (g)	9.7	9.6	9.9	9.8	9.7	9.8

⑥年間行事報告

月	日	内容	月	日	内容
4	14	家族懇談会	10	10	館内ワックス掛け
	18	花見			
5	22～23	利用者採血	11	22	インフルエンザ 予防接種館
	30	日中想定避難訓練		28	館内ワックス掛け
6	27	親笑レクリエーション	12	12	年末会食会 餅を楽しむ会
	29	摂食嚥下合同勉強会 男性利用者聴打診			
7	17	深夜業従事職員健康診断 女性利用者聴打診	1	1、2	ニューイヤーカフェ
				9	新年会 35 歳未満職員健康診断 館内ワックス掛け
				31	東京都運営指導

8	8 30	暑気払い 利用者胸部 X-P 撮影	2	20	館内ワックス掛け
9	20	歯科検診	3	13 19	館内ワックス掛け 地震想定避難訓練

(5) 建物設備整備状況

- ・ベッド17台を購入し、利用者の電動ベッドへの入れ替えが完了した。
- ・放送設備や身障受水槽工事等の工事を実施。
- ・当初予定していた重油タンク内面ライニング工事は、受水槽工事金額が高額だった点や、工事業者の選定もうまくいかず実施できなかった。

(6) 短期入所事業

①重点目標に対する取り組み

- ・利用者、ご家族が安心して利用できるよう、ご家族との面談も実施。また、相談支援のぶどうの木とも調整を行ないながら対応することができた。
- ・長期利用する利用者はいなかったが、希望があった市区町村との連絡調整を行なった。

②利用状況

[短期入所事業]

支援機関	実利用者数	性別	延べ利用回数	延べ利用日数
渋川市	1名	女性	50回	253日
渋川市	1名	男性	1回	4日
合計	2名		51回	257日

利用稼働率 23.1% (昨年度 45.2%)

[目黒区重度身体障害者短期入所事業委託]

支援機関	実利用者数	性別	のべ利用回数	のべ利用日数
目黒区	1名	男性	12回	331日
合計	1名		12回	331日

3. めぐみの里〔生活介護・施設入所支援事業〕

(1) 概要

所在不明や転倒・骨折事故などの再発防止のために「アセスメント」の方法・書式を見直し、改めて一人ひとりの状態把握を行なった。また、支援向上の視点から、強度行動障害支援者養成研修に職員2名が参加をした。

(2) 年間入退所状況

退所日	性別	支援機関	入所日	性別	支援機関
4月9日	女性	前橋市	6月1日	女性	高崎市
6月27日	女性	下仁田町			
9月13日	男性	前橋市			

(3) 重点目標に対する取り組み

①日課の見直し

- ・職員の勤務形態の検討（夜勤4名体制とし、6:15からの早勤と12:00からの遅勤をなくす）をしたが、シミュレーションの結果、現在の職員数では公休数を消化できず実現不可能であることが分かった。（変則勤務ができる職員が最低20名必要）
- ・入浴支援：主婦層の職員が多く出勤している午前中に女性入浴を実施することとした。また、男性入浴の着脱に女性職員がフォローに入ることにした。その結果、入浴回数を確保することができるようになった。
- ・ブロック活動：「手洗いの徹底（しらねブロック）」「朝の清掃（とねブロック）」「料理クラブ（しらね・はるなブロック）」などを実施し、定着させた。
- ・単独外出ができる利用者の行動範囲（園内・園外）を拡大させた。
- ・今まで日曜日に行っていたWAXがけ（2,3階）とUレクを、契約職員が出勤している平日に変更した。

②その他

- ・平成30年3月31日づけで旧法の通所事業を終了させたため、生活介護の定員が87名から80名に変更になった。（大規模減算なし）

(4) 生活介護事業・施設入所支援事業

①生活支援

- ・骨折事故は2件（うち1件は入院：昨年7件）、裂傷事故（縫合）は6件（うち1件は入院：昨年10件）で事故件数は減少した。しかし、誤薬・服薬落としに対する具体的な対策が図れていないため、次年度の課題とする。
- ・日中活動の充実を図るため、リトミックの回数を月2回から3回に増やし、うち1回は季節にあわせた創作活動を実施した。また、創作作品の装飾にも力を入れ、彩りのある生活空間をめざした。

②健康管理

- ・平成 29 年度は、嘔吐下痢症（延べ 31 名）、インフルエンザ B 型（延べ 32 名＋職員 4 名）が流行してしまいましたが、今年度の感染症流行は防ぐことができました。
- ・平成 28 年度の診療報酬改定に伴い、向精神薬の処方に制限が設けられたため、多剤投与をしている利用者については入院による服薬調整を実施した。
- ・年間報告

月	項目	内容
5	採血	血液は BML で検査
6	聴打診	嘱託医
9	定期結核健康診断（レントゲン撮影）	渋川市保健福祉事務所
11	インフルエンザ予防接種、聴打診 耳鼻科健診 歯科検診	嘱託医 川島 D r 来園 県歯科総合衛生センター職員が来園

※毎週、嘱託医（井口 D r）が来園

※奇数月に摂食嚥下専門医（山川 D r）が来園

※毎年実施している県歯科総合衛生センター職員によるブラッシング指導は、職員体制が整わず、実施しなかった。

・通院状況（延件数）

内科	外科	歯科	精神科	耳鼻科	皮膚科	眼科	泌尿器科	整形外科	脳外科	婦人科	呼吸器科	合計
99	12	88	103	8	10	35	26	17	23	7	0	428

（平成 29 年度 470 件）

・園内治療状況（延人数）

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
552	323	440	598	647	504	450	414	526	498	516	435	5,903

（平成 29 年度 5,411 人）

・医師診察状況（延人数）

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
7	6	4	13	6	4	2	6	10	8	6	4	76

（平成 29 年度 48 人）

・入院状況

氏名	病名	入院期間	病院名
N. Y	食道癌の疑い	H28.8/2～	田中病院
K. H	排尿障害	3/22～4/9	北毛病院
H. T	薬剤調整、検査	4/5～5/28	榛名病院
I. N	薬剤調整、検査	5/2～7/30	榛名病院
S. Y	食欲不振、体力低下	5/28～6/27	田中病院
I. T	右顔面神経麻痺	5/30～7/5	群馬中央病院
S. T	薬剤調整、検査 (ファンコニ症候群)	6/27～10/31	榛名病院

N. E	熱中症 てんかん発作による薬剤調整、検査	8/4～8/21	榛名病院 ※帰省先での救急搬送
〃	右大腿骨頸部骨折 (入院先での事故)	8/21～10/20	サンピエール病院
O. K	イレウス	8/16～8/30	北毛病院
〃	〃	9/2～9/5	北毛病院
K. A	肺炎、痙攣薬調整	9/5～9/12	北毛病院 ※救急搬送
〃	〃	9/22～10/9	北毛病院
I. N	嘔吐症	9/29～10/1	赤心堂病院 ※帰省先での救急搬送
〃	薬剤調整、検査	10/1～10/4	榛名病院
〃	誤嚥性肺炎	10/4～10/29	渋川医療センター
〃	薬剤調整、検査	12/21～	榛名病院

合計 17 件 (平成 29 年度 11 件)

④食事

- ・嗜好調査は 8 月に実施。タイ料理・日本料理・イタリア料理を実際に食べてから好みの料理の聞き取りを行なった。(一番人気はタイ料理)
- ・イベント食のない月に「わくわくランチ」を実施(トリュフ香る粗挽きメンチカツ、かつおたたき、黄身トロつくねバーグ等)
- ・冷凍庫の保守契約を開始(2019年2月～1年間:ホシザキ北関東高崎営業所)
- ・冷凍庫と冷蔵庫フィルターの洗浄を実施(初めて:ホシザキ北関東高崎営業所)
- ・渋川保健所による給食施設指導は6月1日に実施。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
エネルギー(kcal)	1,906	1,922	1,915	1,910	1,926	1,905
蛋白質(g)	70.3	71.4	71.0	71.1	71.2	70.2
脂質(g)	49.4	51.2	49.6	49.5	50.7	49.3
塩分(g)	8.7	8.8	8.7	8.7	8.7	8.7
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
エネルギー(kcal)	1,927	1,905	1,925	1,933	1,900	1,904
蛋白質(g)	70.6	72.4	70.7	71.8	69.7	68.7
脂質(g)	50.3	48.2	50	51.8	48.4	50.2
塩分(g)	8.9	9.0	9.0	9.0	8.9	8.9

⑤年間行事報告

月	日	内容
4	2,5,9,11	お花見
	14	家族連絡会(総会・懇談会)
5	20	ザスパクサツ群馬サッカー観戦招待(利用者6名参加)
	23	知的レクリエーション交流会
	30	高崎パイロットクラブチャリティサマーコンサート招待(利用者7名参加)

6	11	Uレク
7	4	ボランティア交流会
	14	家族連絡会
	27	納涼祭
8	5	明保野祭り
	22	防災訓練（夜間想定）
	27	Uレク
9	2	障害者スポーツ大会（フライングディスク）
	11～13	ナイスハートフェア（作品出展、利用者見学）
	11	渋川広域圏福祉パレード（利用者3名参加）
	16	障害者スポーツ大会（陸上）
10	5	ふれあいボーリング（利用者5名参加）
	14	家族連絡会
	26	創立50周年記念式典（利用者5名参加）
	30	地域サービスデー
11	5	Uレク
12	5	防災訓練（日中想定）
	8	もちつき交流会（渋川市勤労者協議会来園：渋川市社協の歳末たすけあい募金より20,000円をいただいた）
	25	クリスマス集会、クリスマスティーパーティー
1	4	新年会
	8～10	ゆうあいフェスティバル（作品出展）
2	4	節分（豆まき）
3	4	Uレク
	8～9	あすなる祭（作品出展、利用者3名見学）
	13	友近890ミニライブ

（5）建物設備整備状況

- ・10月の創立50周年記念式典にあわせて、連絡通路塗装工事や法人玄関等のカーペット交換などの修繕を実施した。
- ・10月に行なわれた就寝用福祉施設等への防災査察で、ベランダの亚克力パネルと3階物干し場のガラスハウスが防災避難規定に抵触する旨、指摘を受けた。次年度以降、設計監理業者を選定し、検討をすすめる。
- ・平成29年6月の県指導検査にて、平成18年度に2,3階のスタッフルームを仕切ってつくられたショートステイ部屋が、防災上、不適当なため使用不可と指摘を受けた。検討した結果、9月に大幅な居室変更を行ない、2階は「静養室」、3階は「物置」として使用することとした。

実施月	内 容
4	ウイングロード12ヶ月点検（中澤自動車）
5	<p>キュービクルPCB特別措置法に基づく現地調査（県環境森林部）</p> <p>ADバン車検（中澤自動車）</p> <p>キュービクル蓄電池交換（関東電気保安協会）</p> <p>3階物干し場の熱風乾燥機交換工事（群電）</p> <p>ボイラーNo.2の玉型フレキ交換（日本サーモエナー）</p> <p>キュービクル塗装工事（関東電気保安協会）</p> <p>厨房ガス給湯器交換工事（中島商店）</p>
6	<p>合同事務所FAXアダプター交換（NTT）</p> <p>法人玄関自動ドア修理（群馬ナブコ）</p> <p>食堂東側エアコン設置工事、厨房事務所・休憩室エアコン設置工事（岳電工）</p> <p>厨房チェストフリーザー交換（ホシザキ）</p> <p>建築基準法第12条に基づく建築物定期調査実施</p>
7	<p>多目的室エアコン室外機基盤工事（藤田エンジニアリング）</p> <p>1階LED交換工事（ヤマダ電機）</p> <p>駐車場の桜の下枝剪定（勢多造園）</p> <p>カラーラワゴン廃棄（田子商会在が買い取り）</p>
8	<p>館内害虫駆除：2,3階はダニ、1階はゴキブリ（西武消毒）</p> <p>エレベーターのカゴ内照明交換（東芝エレベーター）</p> <p>連絡通路塗装工事（上原塗装）8/17～10/20 ※次回10年後</p> <p>2,3階脱衣場エアコン設置工事（岳電工）</p>
9	厨房冷凍冷蔵庫フィルター洗浄（ホシザキ）
10	<p>館外ツバメの巣撤去・法人玄関・ベランダ掃除（アットハウスクリーン）</p> <p>ADバンバッテリー交換（中澤自動車）</p> <p>就寝用福祉施設等への防災査察（県土整備部、県障害政策課、前橋土木事務所）</p> <p>消防立入調査</p> <p>粗大ゴミ処分（ACC群馬）</p> <p>アトラス車検（第一自動車）</p> <p>非常用放送設備交換（岳電工）</p> <p>応接室、法人玄関・利用者玄関・職員通用口のカーペット交換（インテリアおおた）</p> <p>浴室・トイレ等の水回りの修繕工事（萩原興業）</p>
11	<p>喫煙所清掃（アットハウスクリーン）</p> <p>建築物にかかる防災設備調査（ぐんま特殊建築物定期調査・検査事業協同組合）</p> <p>非常用消防設備の立入調査（消防署）</p> <p>イルミネーション取り付け、法人玄関前樹木剪定（勢多造園）</p> <p>受水槽凍結防止対策（萩原興業）</p>

12	エレベーターブレーキ工事（東芝エレベーター：無償） 厨房殺菌灯交換
1	エレベーター工事（東芝エレベーター：JCRN工事以外の部品交換） ベルマークより食堂用イス10脚納品
2	セレナ車検（中澤自動車） 厨房裏の杉の木伐採（美松園）※費用は地主の町田久氏（三愛荘理事長）が全額負担 厨房エアコン清掃（三協厨房：4年に1回）
3	受水槽清掃（日化メンテナンス）

※ワックス掛け：6,9,12,3月の年4回実施（平成美装・太平ビルサービス）

※エレベーター点検：5,8,11,2月の年4回（東芝エレベーター）

※消防設備点検・消火器点検：5,11月（岳電工、共和消防設備）

※スプリンクラー法令点検：9,3月（正栄技研）

※厨房害虫駆除：4,10月（西武消毒）※次年度よりダスキンに業者変更する

※ボイラー保守点検：5,10月（日本サーモエナー）※10月は缶体煤洗浄も実施

（6）短期入所事業

①重点目標に対する取り組み

- 平成29年6月の県指導検査にて、平成18年度に2,3階のスタッフルームを仕切ってつくられたショートステイ部屋が、防災上、不適当なため使用不可と指摘を受けた。検討した結果、平成31年4月1日づけで事業形態を「併設型事業所」から「空所利用型事業所」に変更した。

②年間利用状況

支援機関	実利用者数	性別	延べ利用回数及び日数	
渋川市	3名	女性	7回	38日
高崎市	1名	女性	8回	15日
吉岡町	1名	女性	10回	22日
合計	5名		25回	75日

利用稼働率10.2%（昨年度10.5%）

（7）日中一時支援事業

①重点目標に対する取り組み

施設入所につなげるため、積極的な受け入れ対応を行なった。

②年間利用状況

支援機関	実利用者数	性別	延べ利用回数及び日数	
渋川市	4名	女性	46回	46日
前橋市	1名	男性	21回	21日
〃	1名	女性	25回	25日
高崎市	1名	男性	43回	43日
〃	1名	女性	12回	12日
吉岡町	1名	女性	12回	12日
合計	9名		159回	159日

第4章 障害福祉サービス事業所

1. ベテル〔就労移行支援事業・就労継続支援B型事業〕

(1) 概要

就労移行支援事業に関しては、平成30年10月に1名が就職。他2名も合計4回企業での採用実習を実施した。就労継続支援B型では、平均工賃20,847円と目標の20,000円を上回り、前年比でも2,240円の増額となった。ただし、各班の売上状況としては印刷班以外の3班ともマイナス収支であり、課題解消には至らなかった。

(2) 年間退・入所状況

①就労移行支援事業

退所日	性別	支援機関
4月30日	男性	渋川市
9月30日	男性	渋川市

*新規利用者はなし

②就労継続支援B型事業

退所日	性別	支援機関	入所日	性別	支援機関
7月31日	女性	渋川市	4月16日	男性	前橋市
9月30日	男性	台東区	5月1日	男性	渋川市
10月4日	男性	渋川市	6月20日	男性	沼田市
11月25日	男性	渋川市	9月12日	女性	渋川市
2月18日	男性	高崎市			
3月31日	女性	渋川市			

(3) 重点目標に対する取り組み

①就労移行支援事業

- ア 一般就労につなげるため、作業内容を見直し、拡大を図る
- ・企業実習の結果を踏まえ、作業内容の見直しよりも挨拶などの基本的な生活習慣の方が必要であることが分かり、その部分に集中した支援を行なった。

②就労継続支援B型

- ア 平均工賃20,000円を達成する
- ・平均工賃は20,847円（前年比2,240円増）。目標である20,000円を上回ることができた。勤勉手当については、夏期が1.0ヶ月分、冬期が1.5ヶ月分、期末

は 3.0 ヶ月分の計 5.5 ヶ月分を支給した。（前年は 4.0 ヶ月分）しかしながら、印刷班以外の 3 班はマイナス収支となり、印刷班に依存する課題の解消には至らなかった。

・各班年間売上と平均工賃 単位：円

班名	平成 30 年度売上実績	平成 29 年度売上実績	前年比
印刷班	23,691,464	21,774,786	+1,916,678
販売班	3,903,030	3,963,880	-60,850
軽作業班	3,296,848	2,723,389	+573,459
製袋班	5,490,074	6,800,342	-1,310,268
各班合計	36,381,416	35,262,397	+1,119,019
平均工賃（月額）	20,847	18,607	+2,240

イ 所属班以外でも作業が行なえるように、利用者のスキルアップ支援の強化を図る

- ・平成 30 年 1 月より、試行的に行なった所属班以外での作業について、6 月にマニュアルを完成させ、7 月より本格的に実施した。しかし、9 月より利用者の退所が相次ぎ、継続的に実施することができなかった。その中でも、平成 31 年 1 月に 1 名、3 月に 1 名が軽作業班から製袋班に異動し作業を行なった。また、異動後は製袋班に固定することはなく、軽作業班の状況に応じて臨機応変に作業ができる環境を整備した。

（４）各班収支状況

①印刷班

- ・年間売上額、約 2,369 万円、売上目標達成率は 108%となった。

②販売班

- ・年間売上は約 390 万円（前年比：約 98%）、目標達成率は 97%だった。

③軽作業班

- ・年間売上額は、約 330 万円（前年比：約 121%）目標達成率は 104%だった。内訳としては、銅箔とアルミの分別作業が 126 万円。発泡スチロールのテープ留め作業と排水溝部材の梱包作業を合わせて約 139 万円であった。（前年比：34 万円増）この 2 つの作業の売上は、軽作業班の総売上の約 79.8%を占めた。
- ・平成 30 年 5 月に関越興業から雑品解体の依頼があり、一年を通して継続的に入荷があった。雑品解体作業の売上は 34 万円。昨年度の売上を上回る大きな要因となった。

④製袋班

- ・年間売上額、約 549 万円。目標達成率は 65%となった。職員の技術不足により製袋機の稼働を安定させることが出来ず、また利用者 4 名の退所があり一台稼働の

日数が増え、年間売上目標 840 万円を達成することができなかった。

(5) 利用者支援

①就労移行支援事業

a. 訓練内容

- ・年度内で初めて行なった実習先での状況から「大きな声で挨拶」「寝癖を直して出勤する」など基本的な生活習慣の改善に力を注ぎ、全員ではなかったが効果がみられた。

②就労継続支援B型

a. 作業支援

ア. 印刷班

- ・オンデマンド機での無線とじ案件の単独実施に関しては他の受注案件とのタイミングや納期の問題から思うように対応していただくことができなかった。その分、マニュアル作成を促し、完成。それを活用しながら対応する形を取った。

イ. 販売班

- ・オリジナルコーヒーである『ベテルコーヒー』を商品化し、利用者がベテルコーヒーをPRできるよう、商品知識を深める支援を行なった。

ウ. 軽作業班

- ・主体的に取り組める作業科目の検討を継続の取り組み目標としたが、進展を図ることができなかった。その他、既存作業に対する作業工程の見直しについては、昨年度作成した利用者の適応状況をもとに、作業科目の割り振りを行なったが、利用者の適応力の向上までは至らなかった。

エ. 製袋班

- ・オペレーター及び封筒チェックの出来る利用者を育成することを目標とし、3名の候補者を中心に支援を行なった結果、利用者1名がオペレーターは出来るようになり、利用者2名は封筒チェックの基本的な部分を覚えることができた。

③行事・集会開催状況

月	日	内 容	月	日	内 容
4	12	春季日帰り旅行	11	1	秋季日帰り旅行
6	27	親笑レクリエーション大会	12	26	慰労会
8	8	夏季日帰り旅行	1	4	利用者・職員新年会（お祝い膳）
	22	東京女学館交流会			

(6) 医務面の状況

①年間報告

月	日	項 目	内 容
4	19	血圧・体重測定	

5	16・17	利用者採血	
	17	血圧・体重測定	
6	28	血圧・体重測定	
7	12	前期健康診断聴打診	嘱託医（利用者）
	27	血圧・体重測定	
8	23	血圧・体重測定	
	30	レントゲン撮影	レントゲン車
9	13	血圧・体重測定	
10	11	血圧・体重測定	
11	15	血圧・体重測定	
	28	インフルエンザ予防接種	
12	14	後期健康診断聴打診	嘱託医（利用者）
	20	血圧・体重測定	
1	31	血圧・体重測定	
2	21	血圧・体重測定	
3	29	血圧・体重測定	

※ 9月・11月・12月・3月 生活習慣病予防検診実施（35歳以上の職員）

（7）日中一時支援事業

・利用者なし。

2. エステル〔就労継続支援事業B型・生活介護事業〕

(1) 概要

4月から生活介護事業、就労継続支援事業B型の多機能事業所として、協力体制を取りながら一つの事業所の意識を強く持ち支援を実施、4月24日には落成式を行なった。

生活介護は、平成29年度で渋川市の委託が終了した「あじさいの家」の利用者を中心に受け入れて運営を開始、新たに館内に設置した機械浴槽を利用し、2名の方に入浴サービスを行なった。また、リトミックを導入し、利用者の創造力、表現力の向上に努めた。

就労Bは、マンナの営業日を週5日から週3日へ変更し、総菜パンや新商品の販売へと結びつけた。営業日は減ったものの大きな減収はなく、他班のクリーニング、軽作業、公園清掃が順調であったため、目標工賃を達成することができた。

(2) 年間退所・入所状況

退所日	性別	支援機関	入所日	性別	支援機関
5月31日	女性	高崎市	5月21日	女性	渋川市
9月30日	女性	渋川市	6月1日	男性	渋川市
			11月1日	男性	渋川市

(3) 重点目標に対する取り組み

①就労継続支援事業B型

ア 平均工賃12,000円を目指す

作業種目は、建て替え工事前と同様であった。しかし、作業量が増えたことにより収入が大幅に伸び、平均工賃12,936円と目標を達成することができた。

・生産活動売上と平均工賃

単位：円

生産活動内容	平成30年度実績	平成29年度実績	前年比
公園清掃	993,600	993,600	0
クリーニング事業	5,613,700	4,898,200	715,500
パン工房事業	2,655,090	1,977,032	678,058
軽作業事業	2,575,754	1,987,852	587,902
合計	11,838,144	9,856,684	1,981,460
平均工賃(月額)	12,936	11,846	1,090

②生活介護事業

ア 日課を構築する

今年度から生活事業を開始。利用者間の大きなトラブルはなく、概ね落ち着いて過ごせた。日課は、午前は運動、午後は創作・レクリエーションとして定着した。外部講師に

よる月1回のリトミックも開始した。また、他事業所の短期入所を利用する方については、相談 支援事業所ぶどうの木と連携を取りあった。

(4) 利用者支援

①就労継続支援事業B型

[生産活動支援]

- ・パン事業の商品開発を行なうため週3日の営業にした。利用者も商品開発に関わることができたが、収入が若干下がった。その他の作業種目は作業量が増えた。また、落ち着いて作業ができない利用者の机にパーテーションで間仕切りをするなどの環境作りをした。

[生活支援]

ア 利用者対応

- ・生活習慣の乱れや着衣の乱れがある利用者に対し、改善が図れるよう声かけ等の支援を行ってきたが改善には至らなかった。
- ・レクリエーションとして、日帰り旅行、会食会、夏・冬の外出等は例年通り実施した。

イ 通所支援

- ・通所支援として、1日4便の送迎便を運行。利用者の状況に合わせルートや席順を変更しつつ送迎した。

ウ 保健衛生支援

- ・保健衛生支援として、毎月の体重・血圧測定、年2回の定期健康診断、インフルエンザの予防接種や胸部レントゲン撮影を実施した。冬季は感染症予防のため加湿器を設置、毎日の検温及び手洗い・うがいの徹底を図った。

エ 給食支援

- ・給食支援として嗜好調査を行ない、可能な範囲で希望のメニューを取り入れた。また、選択メニューを月2回実施した。外部委託業者（グリーンヘルスケアサービス）と共に、毎月会議を行ない、検食での指摘事項について検討した。

オ 家庭との連携

- ・家庭との連携として、連絡帳を毎朝確認し、特記がある場合は、朝礼で職員に周知すると共に、家庭へ電話での連絡を行ない情報の共有化を図った。
- ・グループホーム・ケアホーム利用者については、サービス管理責任者や世話人と連携を密にとった。また、エステル通信を毎月発刊した。

②生活介護事業

ア 利用者対応

- ・午前の散歩や食事の座席のグループ分けを継続して検討した。
- ・入浴は女性利用者2名を毎週1回対応した。また、短期入所利用の際も入浴を実施した。

イ 機能訓練・運動

- ・個々の身体状況に合った運動メニューを理学療法士と検討し実施した。

ウ 創作的活動

- ・前橋七夕まつり七夕飾りコンクールに出品し、エフエム群馬賞を受賞した。
- ・生活介護と就労継続支援 B 型の出入り口脇に季節に合わせた作品を展示した。

エ 生産活動

- ・生産活動を試行的に開始した。

オ 生活相談及び援助

- ・送迎時やサービス担当者会議等を通じ、家族との情報交換を密接にした。
- ・利用者の状態を細かく観察し変化に対応した。

カ 行事・社会活動支援

- ・毎月の外出を予定していたが、天候やインフルエンザの流行等で外出できない月もあった。

③建物設備整備等実施状況

実施月	内 容
5	消防設備点検 消火器点検
9	浄化槽点検
10	浄化槽 7 条検査
11	消防設備点検 放送設備点検
1	電気設備点検
2	LP ガス設備保安点検
3	スプリンクラー点検

④年間行事報告

月	日	内 容
4	2	辞令交付式
	9	新建物での活動開始
	14	家族会総会（施設別懇談会に 29 家族が参加）
	19	お花見（渋川市総合公園）
	24	落成式
	26	入浴支援開始
5	23	知的障害者施設レクリエーション交流会
6	15	レクリエーション（焼きまんじゅうの日）
	27	春の健康診断（聴打診）

7	6	前橋七夕まつり見学
8	18	リトミック開始
9	5	福祉パレード利用者1名参加
	8	レクリエーション（外出・バーベキュー）
	21	胸部レントゲン撮影
10	3	こっぺぱん祭（マンナ）
	17	利用者日帰り旅行（長野方面）
11	8	秋の定期健康診断・インフルエンザ予防接種
	29	ブラッシング指導
12	7	会食会（プレヴェール渋川）
1	9	レクリエーション（外出・イオンモール高崎）
	23	レクリエーション（お刺身の日）
2	15	レクリエーション（お菓子の日）
	25	防災避難訓練（消防署立会い）
3	13	レクリエーション（お菓子の日）
	27	レクリエーション（お寿司の日）

（4）日中一時支援

利用実績なし

3. シャローム [就労継続支援B型事業]

(1) 概要

利用者の安全を第一に考え、利用者の働く意欲と生産力の向上を目標に支援を行ってきた。生産活動では、気候等の影響により売上目標を達成できず、平均工賃も前年度を下回った。

(2) 年間入退所状況

入所日	性別	支援機関	退所日	性別	支援機関
10月1日	男性	渋川市	7月31日	男性	渋川市
			12月18日	女性	渋川市

(3) 重点目標に対する取り組み

①生産活動収入 1,600 万円、月額平均工賃 26,000 円を目指す

- ・りんご、野菜ともに気候（台風、猛暑）等の影響により前年度の売上を下回った。
- ・平成 29 年度の実績を踏まえ、平均工賃を 26,000 円に設定。しかし全体の生産活動収入は約 1,000 万円に、月額平均工賃は約 23,000 円にとどまり、目標を達成できなかった。冬期勤勉手当・期末勤勉手当も支給できなかった。
- ・生産活動売上と平均工賃 単位:円

生産活動内容	平成 30 年度実績	平成 29 年度実績	前年比
りんご	4,777,019	7,405,222	-2,628,203
野菜	4,354,274	3,410,154	944,120
加工品	611,080	484,910	126,170
清掃委託	252,000	252,000	0
合計	9,994,373	11,552,286	-1,557,913
平均工賃(月額)	23,593	25,163	-1,570

②新規事業として、地域のニーズに応じていく生産活動の準備を進める。

- ・会議等を行ない、独居老人に対する取り組みを検討したが、実行には至らず、次年度へ持ち越しとなった。

(4) 利用者支援

① 生産活動支援

- ・朝礼、終礼また各作業現場等で注意を呼びかけ、大きな事故や怪我等を防止することができた。またヒヤリハットや苦情等を職員会議等で検証し、再発防止を図った。
- ・利用者個々の能力・適正を見極め、作業内容・作業配置を固定化することで、作業の効

率化を図り、生産性を高めることができた。

②就労への移行に向けた支援・就労の機会の提供

- ・地域のイベント等での販売に利用者が参加することができなかった。

③生活支援・相談及び援助

- ・規則正しい生活習慣や社会人としての態度を身につけてもらうため、夜更かしや食生活等、生活習慣の改善が図れるように本人だけでなく家庭やグループホームにも協力を呼びかけたが、あまり成果は現れなかった。

④食事の提供

- ・嗜好調査や希望献立を可能な限り取り入れて、バラエティーに富んだ給食を提供した。
- ・今年度も月1回、新たなメニューを考案し取り入れることができ、利用者に楽しんでもらうことができた。
- ・年齢、体格、労働量などを考慮し献立表を作成した。また、肥満対策としての食事指導については、個別に面談を行ない、一部の利用者にやや改善が見られた。
- ・食事の準備及び片付け、食事時のマナーについては、その都度声掛け等の支援を行ない、やや改善が見られた。

⑤健康管理

- ・毎月の体重測定、年2回の血圧測定、尿検査を行なうとともに、嘱託医による定期健康診断を実施し、疾病の予防、早期発見に努め、家庭やグループホームと連携して支援を行なった。

⑥行事・社会活動支援

- ・地域のイベント等での販売に利用者が参加することができなかった。

⑦建物設備等実施状況

- ・送迎車両購入（4月）。

⑧年間行事報告

月	日	内 容	月	日	内 容
4	14	家族懇談会	9	8	家族懇談会
	20	花見			
5	23	知的レクリエーション	12	7	もちつき
				28	慰労会
8	31～9/1	利用者一泊旅行			

4. マイーム〔共同生活援助〕

(1) 概要

利用者の高齢化・重度化に伴ない介護保険サービス（デイサービス、家事援助）を並行利用できるようにした。また「体験利用」を起動にのせて、欠員補充に繋げた。

(2) 重点目標に対する取り組み

①生活環境を整える。

- ・住宅の状況を確認した。バルナバホームでは建物自体に老朽化がみられ、床の沈みを数カ所に確認した。また、備品にも老朽化がみられ、今年度は換気扇と電気カーペットを交換した。その他の設備や備品も順次、交換が必要になる。さくらホームでは物干し場の波板屋根の交換を必要とした。ダビデホーム、クロスホームでは改修、整備を必要としなかった。
- ・居室整理が困難な方に対して、居室整理を実施した。グループホームに移行してから使用していない品を処分することもあった。衣類や棚などの廃棄に、支援を要す方が数名確認された。

②欠員を出さないための取り組みをする。

- ・相談支援事業所と連携して、地域移行希望者を把握するように務めた。知的障害の方のニーズが多いことを確認した。
- ・4名の体験利用を実施した。うち、3名が入居に至った。
- ・「夜間の職員配置」については検討に至っていない。「就労系事業所以外での日中の過ごし方」について、デイサービス、リハビリ、訪問介護の利用実績をもった。今後、生活介護の利用についても検討中。

(3) 利用者支援

①生活支援

- ・不要品の処分や模様替えの補助と助言をした。一部の利用者が、衣類や棚等の処分に困っている状況を確認した。また、処分の仕方が分からない方もいた。職員での対応だけでは整理が困難な状況もあり、訪問介護や家事援助を利用できるように手配した。

②健康管理

- ・新たに3名の方が、介護認定調査をうけた。
- ・運動不足によるADLの低下、体重増加がダビデホームで課題となった。ダビデホームのリビングに、平行棒の設置を試行した。
- ・ダビデホームにて、入浴時間が世話人業務の時間外まで掛かることが度々みられた。ADLの低下により、入浴に要す時間がより必要になった。ADLを維持させてい

く支援が必要になった。

(4) 特記事項

①バルナバホーム

- ・冷蔵庫の購入を予定していたが、その他の家電製品（ホットカーペット、台所換気扇）の交換が優先された。冷蔵庫を含め、ガスコンロの購入を次年度に予定した。
- ・建物の老朽化対策をするため、建物点検を計画していたが実施に至っていない。

②さくらホーム

- ・ガスコンロを予定通り入れ替えた。エアコン、掃除機の購入を次年度に予定した。

③ダビデホーム

- ・玄関戸、居室戸、床のメンテナンスを予定していたが、実施に至っていない。

④クロスホーム

- ・玄関戸、居室戸、床のメンテナンスを予定していたが、実施に至っていない。
- ・スロープ手すりの改修を予定していたが、実施に至っていない。

第5章 相談支援事業

1. ぶどうの木

(1) 概要

平成30年4月1日から、一般相談支援事業を開始した。契約中の利用者から対象利用者について確認し、地域定着支援について1件開始した。

なんでも相談室から新規利用者の紹介が12件あり、ぶどうの木と契約を開始した。

サービスの調整や新規利用者獲得の他に、平成30年4月1日からの報酬改定にて、モニタリング期間が短くなり、計画作成件数が昨年度より109件増加した。

相談については、在宅利用者からの相談が前年度より増加した。利用者の重度化や高齢化、ご家族の高齢化から、緊急時についての相談が多くあった。在宅生活を継続していくため、ニーズの明確化を図り、緊急時や将来を想定した計画作成を行なった。

居宅介護支援事業所シオンの丘と連携して対応するケースが5件あり、要介護認定の申請や介護保険サービスを併用して利用する方がおり、ライフステージに合った相談支援を行なうことができた。また、保護者の高齢化により、保護者のケアマネージャーと連携して対応するケースが2件あった。

(2) 実施状況

全契約者数	新規契約者数	契約終了者数	サービス等利用計画作成数	モニタリング作成数
243名	16名	12名	125件	324件

(3) 重点目標に対する取り組み

①平成30年度から一般相談支援事業を開始するため、幅広い相談内容に対応できるようにする

- ・介護保険サービスを利用開始する方について、地域包括支援センターやケアマネージャーと連携し、介護保険移行後もスムーズにサービスが受けられるようにした。
- ・今年度は新たに発達障害、統合失調症、認知症等の研修に参加し、知識を深め計画に反映した。就労、保険関係についての研修は適当なものがなかったため、来年度移行も引き続き探し参加する。

②相談件数を増やしていく

- ・なんでも相談室から、在宅の新規利用者を12名（法人内利用者2名、法人外利用者10名）紹介していただき、ぶどうの木と契約した。

(4) 業務計画に対する取り組み

- ・短期入所、移動支援、通院介助、日中一次支援等の希望があり、事業所の情報提供を

行なった。

- ・お母様と二人暮らしのご家庭で、お母様が緊急で入院したケースが4件あった。それぞれ在宅生活が継続できるよう、サービスの調整等を行なった。ご家族から支援に対しての疑問や要望があり、適切な支援が行なわれているか、サービス提供事業所へ訪問し、利用状況の確認や面談を行なった。
- ・毎月の職員会議や週1回の定例の打ち合わせにて、進捗状況や困難事例の検討を行なった。
- ・地域資源の確認や困難事例の相談等について、なんでも相談室、渋川市社会福祉課障害福祉課係に確認した。
- ・相談支援部会、拠点整備部会、相談支援従事者等研修会、相談支援従事者フォローアップ研修、相談支援従事者現任研修、自閉症セミナー、発達障害者支援者研修会、社会福祉法人すてっぷ福祉講演会、群馬県若年性認知症支援コーディネーター研修会、相談支援に係る説明回（集団指導）、認知症ケアに関する研修会、障害者虐待防止・権利擁護研修会、群馬県障害者虐待防止専門研修、人権倫理委員会研修会、見守り支援セミナー（地域生活支援）、精神保健福祉部会（統合失調症）、就労支援スキル研修会に参加し、制度やサービスについての理解を深め、計画に反映させた。
- ・成年後見制度についての相談が4件あった。入所施設については、入所施設で申請までの対応を行なってもらった。

第6章 高齢者施設

1. カナン〔特別養護老人ホーム・短期入所生活介護〕

(1) 概要

体調が不安定な利用者が多い中、今年度は6名の方が亡くなった。そのうち2名が施設内で看取りを行なった。また、ご家族からの虐待があるということでの法外利用や、精神的に不安定な方の緊急ショートステイの利用に対応した。

(2) 年間入退所状況

<入所>

<退所>

入所日	性別	支援機関	退所日	性別	支援機関
4月25日	女性	渋川市	4月1日	女性	渋川市
6月22日	男性	渋川市	7月2日	男性	藤岡市
7月19日	男性	前橋市	7月14日	男性	渋川市
8月16日	女性	渋川市	12月24日	女性	渋川市
2月21日	女性	渋川市	2月23日	女性	渋川市
3月28日	女性	渋川市	2月28日	女性	渋川市

(3) 重点目標に対する取り組み

①生活環境の変化による状態変化や、年齢等による機能レベルの低下に対応できるよう、情報共有を十分に行なう。

- ・退院した利用者について病院からの情報を基に担当職員を中心に話し合ったり、機能レベルの低下が著明な利用者に対してはPTからの見解を頂いたりという対応を取った。

②利用者個々に即した支援を構築する。

- ・利用者40名中36名のケース研究が完成した。
- ・看取り介護やご主人の火葬参列、緊急ショートステイややむを得ない事由による入所の受け入れ等行なった。

③委員会を開催し検討の場を作り、支援の向上を図る。

- ・「医療・リハビリ委員会」と「事故・虐待防止・身体拘束廃止等委員会」は、開催日、時間を固定し確実に開催できた。
- ・「支援（生活・食事）検討委員会」は定期開催が困難なため、必要な内容は職員会議やケアプラン検討会議、栄養ケア計画検討会議で話し合った。

④外部研修や現任研修を受けることにより、知識や技術の向上を図る。

- ・現任研修（虐待防止、身体拘束廃止 2 回、感染症防止 2 回、事故防止 2 回、介護技術、看取り）を実施。
- ・介護技術の向上をめざし、ダイパーの使用についての研修を業者に依頼。4 回実施し介護職員全員が受けることができた。
- ・喀痰吸引指導者研修を看護師 1 名受講。

⑤地域の方々、高齢者施設との交流を図る。

- ・ボランティアの受け入れを行なった。（オカリナ演奏、フラダンス、懐メロ、和太鼓等）
- ・渋川幼稚園交流会、地域サロン、ぶどう狩り等により地域の方との交流を図った。
- ・高齢者施設合同行事として、「春を楽しむ会」「秋の大運動会」実施。お互いに環境や利用者、職員に慣れ、行事を楽しむことができるようになった。

（4）利用者支援

①介護

ア 生活支援

- ・利用者、家族、他職種で話し合いながら、個々に即した支援を実施した。
- ・介護技術の研修を 12 月に実施した。

イ 虐待・身体拘束

- ・委員会は月 1 回開催した。
- ・4 月に虐待防止、8 月と 3 月に身体拘束廃止の現任研修を実施した。
- ・身体拘束を実施する利用者については、拘束解除や実施の記録を残し、委員会にて解除に向けて検討を行ない全面解除となった。現段階で身体拘束を行なっている利用者はいない。

ウ 事故防止

- ・委員会を月 1 回開催した。
- ・6 月と 11 月に現任研修を実施した。今後も年 2 回の研修を継続する。
- ・ヒヤリ・ハット受付票を新たに設置。ヒヤリ・ハット、事故のリスクを全職員で共有し予防に努めた。

エ 看取り

- ・2 月に現任研修を実施した。
- ・6 名亡くなった内の 2 名の利用者が、施設内で看取りを行なった。

オ 余暇活動（創作・文化活動含む）

- ・春を楽しむ会（花見）、夏祭り、秋を楽しむ会（創作活動）、クリスマス、正月、節分（豆まき）、ひな祭りなど装飾や季節行事を行なった。外部ボランティアの協力のもと、絵手紙教室を月 1 回行なっている。

カ 生活環境

- ・利用者の安全を留意した居室レイアウトを造り上げた。
- ・共有部分に、創作作品や季節の飾り、絵手紙作品、書を装飾した。

キ 防災

実施日	内 容
10月31日	日中火災想定訓練（合同）
2月27日	夜間火災想定訓練（合同）

②食事

ア 季節食

- ・利用者の栄養状態や摂取状況を確認し、その時の利用者に合わせた食事を提供した。
- ・月に1回の選択メニューを実施。また、おやつを選択メニューも月に2回程度で実施した。
- ・年に1回（6月）に全員を対象に嗜好調査を実施。また、新入所の利用者は入所時にも実施した。
- ・季節の食材を使用した全国各地の郷土料理を今年度後半から開始し、月に1～2回提供した。

イ 食形態

- ・機能レベルの低下があり状態変化が見られた利用者に対しては、その都度担当職員や他職種と連携を取りながらその利用者に合った対応行なった。

ウ 食環境

- ・安全面や本人の機能面を考慮し、食席を検討した。状態の変化が見られることが多く、その都度担当職員を中心に検討し、食席の変更を行なった。

エ その他

- ・原材料費が高騰している中、利用者に喜ばれるものを予算範囲内で提供するのは難しかったが、委託業者と相談をしながら実施できた。
- ・施設内行事では、委託業者の本社から応援職員が来てくださり、にぎり寿司等行事に合った食事の提供ができた。
- ・食事を含めた行事を行なうことで、職員も利用者と一緒に食事を摂る機会を作った。

平成30年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月
エネルギー (kcal)	1,572	1,571	1,569	1,563	1,568	1,572
たんぱく質(g)	61.0	59.8	59.5	60.5	59.9	60.5
脂質(g)	35.7	34.9	35.0	35.3	35.3	35.1
塩分(g)	8.8	8.7	8.8	8.7	8.9	9.0

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
エネルギー(kcal)	1,578	1,563	1,585	1,583	1,580	1,568
たんぱく質(g)	60.2	60.3	61.7	60.9	60.9	60.1
脂質(g)	34.8	34.6	36.3	35.4	34.1	34.2
塩分(g)	8.8	8.9	9.0	9.0	8.8	8.7

③医療・リハビリ

・各月状況

7月	深夜業従事職員健康診断（職員） 胸部X-P（利用者）
9~12月	生活習慣病予防健診（職員）
11月	インフルエンザ予防接種実施（利用者・職員）
1月	35歳未満職員健康診断（職員）

・通院状況（延べ人数）

内科	外科	歯科	眼科	皮膚科	精神科	泌尿器科	呼吸器科	脳外科	整形外科	循環器科	合計
53	10	4	0	18	16	11	0	3	23	3	141

（平成29年度188名）

・施設内治療状況（延べ件数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
148	179	277	308	311	213	420	262	168	188	208	259	2,941

（平成29年度1,442名）

・医師診察状況（延べ人数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
64	65	88	73	87	77	93	99	80	68	76	79	949

（平成29年度953名）

・入院状況

氏名	病名	期間	病院名
K. O	菌血症 急性腎盂腎炎	4/25~5/15	北毛病院
K. K	SP02低下	5/15~7/2	北毛病院
E. T	尿路感染症	5/27~6/13	北毛病院
M. K	SP02低下	7/2~7/4	有馬クリニック

E. T	脱水	7/16～7/23	北毛病院
N. N	左大腿骨頸部骨折	7/22～8/9	関口病院
	心不全	8/9～8/20	北関東循環器病院
E. T	熱発・脱水	7/26～7/30	有馬クリニック
S. T	誤嚥性肺炎	7/31～8/17	渋川中央病院
M. K	肺炎	8/12～8/23	北毛病院
T. Y	尿路感染症	8/15～8/18	有馬クリニック
H. S	意識レベル低下	8/29～9/14	北毛病院
T. I	尿路感染症	8/14～8/29	渋川医療センター
E. T	急性胃腸炎	9/6～10/4	北毛病院
S. S	義歯誤飲	9/17～9/22	群馬大学病院
T. I	右大腿骨転子部骨折	10/17～11/7	関口病院
Y. H	低血糖	11/6～11/8	有馬クリニック
T. T	直腸C a手術	11/7～12/11	群馬大学病院
M. K	誤嚥性肺炎	11/16～12/3	北毛病院
G. N	腰椎圧迫骨折	11/16～11/17	老年病研究所附属病院
T. T	右肺炎胸水貯留	12/5～12/11	北毛病院
N. N	不整脈	12/17～12/24	沼田脳神経外科
T. T	SP02 低下	12/31～2/23	北毛病院
Y. H	低血糖	1/14～1/17	有馬クリニック
S. M	左大腿部転子部骨折	2/6～2/25	老年病研究所附属病院
T. Y	誤嚥性肺炎	2/15～3/12	北毛病院
H. S	心不全	3/7～3/22	北毛病院
K. O	尿路感染症	3/8～3/29	北毛病院

合計 27 件（平成 29 年度 40 件）

・訪問歯科状況（延べ件数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
6	8	11	8	11	23	15	22	19	14	21	26	184

（平成 29 年度 103 名）

④建物設備状況

- ・建物や設備の不備に対して、その都度業者に報告をし、修理を行なった。
- ・2階利用者食堂とエレベーター内に掲示板を設置した。

⑤その他

- ・4月に家族懇談会を実施した。参加出来なかったご家族には必要に応じて個々に懇談の機会を設けた。
- ・地域福祉係と連携し、フラダンス、オカリナやアコーディオン演奏、太鼓の演奏等のボランティアの受け入れを行なった。また、渋川幼稚園との交流会を行なった。

⑥年間計画

月	日	内容
4	18	春を楽しむ会（花見）
5	30	パイロットクラブサマーコンサート（利用者4名参加）
6	25	渋川幼稚園交流会
7	18	地域サロン（七夕）
	27	納涼祭
8	29	夏祭り
9	5,8,12	ぶどう狩り
10	17	秋の大運動会
11	7	秋を楽しむ会
12	12	望年会
	19	地域サロン（クリスマス会）
	25	クリスマス集会
1	16	新年会
2	3	節分（豆まき）
3	3	ひな祭り

（6）短期入所事業

①重点目標に対する取り組み

- ・定期で利用していた方の施設入所が決まったり、新たな利用希望の方が増えたりと、利用者の入れ替わりが多い1年だった。また、精神不安定な方の利用や看取りに近い状況の方の利用があり、現場職員への負担は大きかったが安定した受け入れができた。
- ・緊急での利用希望が多かったが、ケアマネージャーからできるだけ細かい情報を頂き受け入れた。

②利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延べ人数	36	42	30	29	31	26	35	32	31	33	35	35
利用率(%)	80.0	91.6	70.0	80.6	79.3	93.0	92.2	74.6	87.0	94.1	95.7	96.0

2. さつき〔地域密着型サービス認知症対応型共同生活援助〕

(1) 概要

認知症ケアを行なう中で、身体機能の衰えや認知症の進行により入居者の介護度が上がってきている状況である。平成30年度の平均介護度は2.8であり、29年度と比較して0.7高くなり重度化が進んでいる状況である。健康面では体調不良での緊急通院や、持病の悪化による入院が増えてきたため、医療との連携をはじめとする日々の健康管理や食生活の見直しを行なった。また、管理栄養士との連携を図り栄養管理体制を強化した。

(2) 年間入退所状況

退所日	性別	支援機関	入所日	性別	支援機関
2月21日	女性	渋川市	2月27日	女性	渋川市

(3) 重点目標に対する取り組み

①認知症の理解

- ・認知症の進行が著しく、喜怒哀楽等の感情をコントロールが困難なケースが増え、新たな言動も見られるようになった。そのため職員会議で記録の重要性を再確認し言動の背景を探るための記録方法を徹底した。また、月に1回の往診時に医師へ状況を報告し、医療との連携を図った。
- ・群馬県地域包括ケア推進室主催の「抑制廃止を実践するための研修」に職員1名参加、群馬県高齢者ケア講座研修に職員2名が参加した。研修受講後、職員会議で内部研修を行ない、日々のケアを振り返る場を設け、認知症ケアの質の向上を図った。

②生活活力の向上

- ・白菊寮跡地の一部を整備し、農地として菜園を開始した。
- ・開拓した農地で枝豆、インゲン、モロヘイヤ、オクラ、トウモロコシ、大根、人参、春菊を栽培。日々の水やり、成長観察などを入居者とともに実施。収穫した野菜は食事の食材として利用した。
- ・運営推進会議や行事の際にご家族をはじめ地域の方に、収穫した野菜を調理して提供。活動の成果を報告し収穫の喜びを分かち合った。

(4) 利用者支援

①活動

ア 生活支援

- ・献立作成や調理など生活全般を主体的に参加できるよう促した。また四季折々の行事の際にはその時期にあった装飾品を皆で手作りし飾り付けを行なった。

イ 創作・文化活動

- ・塗り絵や切り絵、絵手紙作成、手芸や切り絵を実施した。できあがった作品は館内のギャラリーに掲示した。

ウ 地域活動

- ・運営推進会議を7回（5、6、9、11、2、3月）実施した。さつきでの取り組みをできる限り映像を使用して報告を行なった。また3月の運営推進会議では1年間の生活の様子や行事の様子などをムービー化して報告を行なった。

②食事

- ・各利用者の健康状態や身体状態を踏まえた上で、医療との連携を図った。また、疾病に対する知識や調理方法を医師及び管理栄養士から指導を受け疾患に応じた調理方法を学び食事を提供した。
- ・主食の量や形態の調整を行ない一日の食事、水分摂取量の記録をした。摂取状態に問題がある場合はその都度、訪問看護へ状況を報告し指示を仰いだ。

③健康管理

- ・一昨年は、半数以上の入居者がインフルエンザに感染してしまった。今年度は手洗い、うがいの徹底をはじめ、県内や渋川市内の感染症状況についての最新情報を訪問看護師等から得て、面会や外出を制限するなどの対応を行なった。また、各居室の温度・湿度管理をしたことにより、感染者は出なかった。
- ・一日3回のバイタル測定や月初めの体重測定など健康状態の把握に努めた。
- ・医師と連携し習慣的に利用者の栄養について血液検査を実施していただき、利用者の栄養に関するスクリーニングを実施し、介護支援専門員と情報を共有した。

④住環境整備

- ・白菊寮跡地の一部を農地として整備した。

⑤建物設備整備

- ・入居者居室ルームエアコン（2004年製エアコン）の不調が相次ぎ、全居室（9部屋）、廊下2カ所、事務所の2004年製のルームエアコンを新しく買い替えた。
- ・平成30年11月、日本郵便株式会社2019年度年賀寄付金配分団体の公募の申請（災害、防災等の避難経路を確保するための改修事業として申請）を行なったが、「不採択」の審査結果であった。

⑥年間行事報告

月	日	内容	月	日	内容
4	14	家族懇談会	10	17	高齢者施設合同秋の大運動会
	18	高齢者合同花見会		19	恵の園創立 50 周年記念食事会
5	17	懐メロ鑑賞会	11	5	インフルエンザ予防接種
6	25	渋川幼稚園との交流会	12	19	クリスマス会食会
7	25	防災訓練（日中想定）		25	クリスマス集会
	27	納涼祭	1	1	新年会
8	30	胸部レントゲン	3	19	防災訓練（地震想定）
9	17	敬老会会食会		27	防災訓練（夜間想定）
10	15	秋を味わう会			

3. ゆうかり〔通所介護・予防介護〕

(1) 概要

平成30年度は利用率平均70%を達成することができた。これも3年の間に少しずつ居宅のケアマネージャーに認知されてきたことと、シオンの丘開設も一因と考えられる。今後は、定員の20名を目標にしつつ、それに伴う職員確保にも力を入れていきたい。

(2) 重点目標に対する取り組み

①利用者、個人々に即した支援を構築していく

- ・利用者の日々の変化などを職員個々が確実に記録に残せるよう働きかけ、それらを基に、通所介護計画書に反映できるようにした。また、毎月のケアマネージャーへの実績票と共に1か月の様子を記載した。担当者会議ではそれらをまとめて支援の方向をケアマネージャーに提案した。

②日課を検討していく

- ・昨年度から実施している季節行事やレクリエーションは、改善しつつ継続していった。またレクリエーションで行なうゲーム等のレパートリーを増やし、介護予防の視点から利用者個々の身体機能や興味に応じた内容を実施した。

③関係機関等の連携の強化を図る

- ・利用者さんからの紹介などは迅速に対応するように心がけた。また、ケアマネージャーの困り事などには、一緒に考え行動して信頼関係を得るように努めた。

④地域高齢者の受け入れ体制の整備

- ・明保野会館の代替えとしてカナンを利用してもらった。それにより、地域サロンの共催など少しずつ地域との接点が増えてきた。

(3) 利用者支援

① 介護

- ・担当ケアマネージャーのケアプランに基づき通所介護計画書を作成した。全職員が通所介護計画書の内容を理解し、支援の方向性を統一できるように努めた。また、介護方法の変更などについては、その都度、ご家族やケアマネージャーに確認をして進めた。

② 食事

- ・利用者や家族、ケアマネージャーに聞き取りをして管理栄養士と連携し、個々の嗜好にできるだけ合わせられるようにした。また、季節食や行事食も提供して利用者に季節感や食べる楽しみを味わっていただいた。

③ 医務・リハビリ

- ・通所時にバイタルを確認して利用者の健康管理に努めた。バイタルが不安定な利用者

は休息を促したり、午後入浴を実施したりしてできるだけ本人の要望に応えるように努めた。

- ・月1回の理学療法士が来園時に機能訓練のアドバイスをいただいた。それらを参考にして、日常のレクリエーションの中にも集団体操などを取り入れて利用者の機能維持に努めた。

(4) 年間行事報告

月	日	内 容	月	日	内 容
4	14	家族懇談会	11	14	外出（紅葉ドライブ）
	18	三施設合同花見カラオケ			
	19	外出（花見ドライブ）			
6	25	渋川幼稚園ボランティア来園	12	25	恵の園クリスマス集会
7	31	ゆうかり夏祭り	1	8	ゆうかり新年会
10	17	高齢者レクリエーション			
	18	りんご狩り			

(5) 年間利用状況

月	登録人数	実利用人員数	延利用人員数	稼働率
4	41	31	350	70%
5	39	33	382	70%
6	40	35	382	73%
7	41	37	359	69%
8	40	32	349	64%
9	40	32	337	67%
10	41	36	367	67%
11	41	37	380	73%
12	40	36	391	78%
1	39	36	356	74%
2	41	31	361	69%
3	41	31	332	69%
合計	41	407	4346	70%

※平成30年12月30日（日）～平成31年1月3日（木）年末年始休業日。

開館時間 9:30～16:30

1日の平均利用人数 17.5人（1日の利用定員 通常規模 20名）

第7章 公益事業

1. ポパイ〔福祉用具貸与・販売事業〕

(1) 概要

シオンの丘と共に行動することで利用者数は6名増加し28名となったが、目標人数40名には到達しなかった。販売については、市内の施設等と取引できるようになったため、約900万円の売り上げとなり、年間目標500万円を達成することができた。

(2) 重点目標に対する取り組み

① (介護予防) 福祉用具貸与事業

ア 年間売り上げ目標500万円を達成できるようにする。

- ・シオンの丘やポパイに直接相談される方もおり、シオンの丘へ繋ぐことで利用者を獲得することができたが、利用者数を目標数まで増やすまでに至らなかった。そのため、目標売上高500万円を達成することができなかった。

イ 契約獲得者数40件にする。

- ・契約者数28件となった。

② (特定) 福祉用具販売事業

ア 年間売上目標500万円を達成できるようにする。

- ・レンタル契約利用者や家族、市内の施設から販売依頼をいただけるようになったため、年間目標を達成できた。
- ・オーダーメイド車椅子や歩行器等の補装具費を利用した販売依頼もあり、約94万円の利益がでた。

イ 取引できる事業所を2件獲得する。

- ・誠光荘や薫英荘等から販売依頼をいただけるようになった。

(3) 年間売上実績

単位：千円

売上高	貸与事業	販売事業	売上総利益	貸与事業	販売事業
平成30年度	4,070	10,031	平成30年度	1,558	1,589
平成29年度	3,011	5,194	平成29年度	1,535	1,199
差 額	1,059	4,837	差 額	23	390

2. シオンの丘〔居宅介護支援事業〕

(1) 概要

開所当初、利用者0件からのスタート。5月中旬までは、実施区域の介護保険事業所の営業訪問を実施。4月中旬に1件の紹介をいただき、その後は計画通り順調に契約を獲得することができた。他のケアマネージャーからも障害福祉サービスなどの相談も受け、事業所の特色として一定の認識を得ることができた。

(2) 重点目標に対する取り組み

①新規利用者を獲得する

- ・年度目標の35件を上回り、40件の新規利用者契約を達成できた。

②多職種との信頼関係の強化を図る

- ・こまめな営業訪問を実施し、関わりを増やすことで、少しずつ他事業所との関係を構築することができた。

③地域との信頼関係の強化を図る

- ・今後、地域の困り事などに柔軟に対応できる場所としての機能を果たせるように検討する。

④将来を見据えた新しいサービスを検討する

- ・地域には取り組むべきたくさん課題があるが、まずはできるものから具体化して取り組む。

(3) 契約状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
要介護	1	6	4	3	1	3	0	3	2	0	10	2	35
要支援	0	0	0	1	0	2	1	0	0	0	0	1	5

※ケアプラン作成利用者数 34件（平成31年3月末現在）

第 8 章収益事業

1. オリーブ

(1) 概要

目標額よりも売り上げは約 90 万円少なく、達成率は 97%であった。喫茶室アンペアンスのエアコン等の買い換え費用が約 90 万円かかり、法人への繰り入れ額は 75 万円に留まった。

(2) 重点目標に対する取り組み

①収入 3,200 万円、収支差額 200 万円を達成する

- ・収入増につながる事業について他法人の取り組みを調べたが、具体的な取り組みまでにいたらなかった。
- ・売り上げの目標額に対する達成率は 97%であり、エアコン等の交換費用も掛かったため、法人への繰り入れは 75 万円と達成率は 37.5%であった。

(3) 年間売上実績

単位：千円

	売上高	法人への繰り入れ
平成 30 年度	31,068	750
平成 29 年度	30,623	2,000
差 額	445	-1,250